臣鄉行

	` -1	r	t		百	Ī	j	Ţ	- 1	第		-									李	艮			E	<u>1</u>			盛	¥		ī	朝					日-日	6-t-	/] —	年_	+	正大		(1	可認	物	更郵				((二)	
社開立の意士發見がない。 一年 1月 1月 1月 1日 1月 1日	で製む建議案や加洲台の提出与や中の中				出席を英國の賛同寺立 石油問題のを門戸開放す力説を陳述書を發す (3.外して1917年7月) ジリビ語米国イジ (*****) 1917年第十世		加雪客	(『早外し午』二十四日發電) 英國の開戦者 避いり為から近東の危	回り	子す	見り直トも図	「日翌時日の日寺県 派皇帝記記十四年		一伊太和調停失敗	न न न	合國賠償委員會日非公式代表者召喚七反對も	の) 米國々務卿『弄ー竺』氏モ 元老院外交委員長	努即代表召還 又對	人民と示風遊は多姓では、福茂田八彩館共和園記道の季での及拳架愛口の	ニナ五日の) 米駐屯軍の営地を 出發む 不未幾の地方	緩衝共和國設置反對	国 引	也了六文匠力	も米	エフラ宣析説	长巨敦良	東奥寺・佛軍平占領の 抵抗のおり 三決すます可す 111・地方の強渡が観者の終于五萬『草中思』の資金を 支出司 立財政的援助 11-	剛全国労働組合聯合會モ『キー・	働者 一接助	電話り		(『中日本3二十3日後用の逸みないみ (『中日本3二十3日後日) 佛軍の軍法會議の内 獨逸産業界の巨夏 憲法		對可中然起心結果市街戦者 起の七中のみ日み	五日後電)『中日本』及『五州の子科に』市民や佛路(一)」	一行動の對から	獨逸兩市民奮起		四の二年以上『早の』地方 古領な計監の	二年以上占領計畫 戰	例顾录到地大上的期	î i î	歐 米 情 報 素	是没替到中华的中华 1967年,1967年,1968年,1	-名の行が小 此事を常分間斎地の残在が小正書局子街川方ののそ白策の 吉林醯送を二十日の	局子御白軍吉林移送	工廠技工品、林俊廷氏是廣西總司令二品任命替工廠技工品、林俊廷氏是廣西總司令二品任命替工品、李明即中級對一	●明介 1 1、 易火炎によりできる。 医易禁じる 音音波接近峰接近 4.一、孫文氏者大總統の立可立 學作館氏書兩席巡閱便豆沈鴻英★專取 4.	1 ・ 予選英、李易楊軍者主力・至司立 雲南軍、海軍、林俊廷軍马事業政府	十二十		局者遺附も放立從水平日貨排斥同盟者 取消むいみめの 単一 マ次(上海高) 抽頭學生聯合會の母官言が耳日本の 國交手面がが非背 む上		リルドレストに	中國政局
来年度豫算中遞減税で元用な者(當然減税の資金・星世者)せる(當然減税の資金・星世者)せるのは日本の関係上今回の非	やかりり増税呈海軍 輸 援の資金	すって 華府合議の 結果即自然の	きは、資産では、多年のでは、	3月1日でリート 二十日子会長日	外皇破天荒当行政整理寺行な村財政第二皇七代表者の政府オム	縮少き断行きス斗帝國を目下の	即物質を調節之れなりと通貨コー	見は 道足中記長の法国ルナイツ不過を燃り有いの物質脱貨コ	刀策・大概枝葉末	計構とはり 年計り 言見り對する 生物 優調節 も生活	價格物資の下落斗金融硬整の可	こと 改善口者 時的経濟對策	此財界不振의原	하モルル有하めムル財界モ依然 引き宣曲が放三世人を大が期待	財政整理司急	む經過を述む 中加藤内高材屋で招き	をはいるのうい質問むけれ前提が	若槻禮次郎氏 行政財政司	の開合おけ	(二十五日)	貴族院議	Ê	(東京電)日本貴族院の幸、無所	預算縣長推薦	기로하얏더라	三豫定斗如前 十六月早时開會	十五日午前の協定の成立日の二世	日來三政府及各派交渉も結果三	(東京電) 日本衆議院のは施政	質問期限協定		ソモ要求하め二十結局議長の一)政會側や根據가行む故呂掲載ガ	部顶	日の各派文が司を開かから日文文「蘇の掲載かりる要求が放立二十五」	が外交の一覧表を提出から速記。 本皇月月太良日プレ日夕村		かソ豆决定 か	議長の委任	一覽表處問題	\$P\$	仕案提出の對かの目下革新俱楽、東京第二日本語の思さの形才	不信任案時期	小無計いも窓向の日中	過及解決の就の中で何等緒朋を必ず理由を一過の理由の主を問題の数生が理由を		上奏問題と樞府對政府コ問館	火々説明・事	4	順派院の関盟と公表を生質の一切の事取を態度と	1日一次開議者開かれるグラユ 旅	E 例	□ 次編楽を提出がリモ決定がタセー	東京社)日中郵便條約で開催。	案是出外對計作 一等 革新俱樂部決議 一些	政府對抗策
が完み『ヨムミ みこ』『質職質験が完み『ヨムミ みこぎ でこ』『質職質験の 大き のののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、	いこ公平せ資務○三定立以即性整理節約費引の工义減税の對す	縮少三調查司結果今明州年度可更可進可止對整理者力的可以	既然立行な豫定の中來年度のそ	日では上上丁文り記割りりする	行政整理や官制攻正の三抵闘の君や闘烈立一時の行か立元から	以上《四整埋之外希望》中若規	政整理事終了か七八のの日至其	加藤首相 財政司就中华之藏	<u>*</u>	勢川き固執管理山や何故も外在	みりむ音豆思惟 かい陸軍の現在	又補助艦斗補助計整工成立하지	約六数小不信する中の日補助監	軍縮少当結果節約四千萬圓の節 対熱熱。オミガ間でコまプの治	そ新設むい云かでい政府で如何	年分号地方の移譲の五其財産税	西時可設置名財政	いいむそ何放むか	1.投め七二千萬圓	11刘小川刘关哲河	系見放豆成脱甲汀孜犲孜昇隆聖藤首相を臨府倉議コ全権のモ關	一百萬圓『不過す	・の製造器額を二千	可輸移出製品の産額の増加が火ムーの限の実準品以后の及びでのます。	1年には日文としては十年に年1年日本人製造業者の移住ル漸多む	門の語用者充足者の止ず少人い近	びは女皇品質の日雅がユ軍が別学は焼換の中旦設備技術の缺むルルズ	朝鮮の製造業を従來大概經營の小	小	くこ三製を	夕履	野子) 藤良監 宮外罷之功 三浦蓮之助 長與又郎 畑佐之		吴马列叶民马招待可依补咋左引 (東京龍) 日本の本 米國 富麗		1 年 二 京 大決	公容を引の日即異性の 資格の徹底	では、大学のでは、	北大學法	東北大學捐放	料金統一の関も建議案(牧山耕の	鐵附屬地間四郵館、豪灣、樺太、南	左司建議案を提出が受付い	垂電半約一等	おきまれた 一元 一日本	件也縣道認可す関すると各村縣	意志+表示世事、又都制暖止す一國時 8 大正十三年度半月實行者	出すい地租地方移職が明示する。第七指則の開き到外の選手を	次月サリトを指ぐ上と	理を開せ所建議条提出がサモロ・観委員はず4農村振興、行政税制プ	池) 政友合 4 地租間	地租問題被會	中五研究世界林博太郎伯·F反對 &	最長 8 茶筋會 8 藤田内郎男 + 推 121 8 無所屬 9 目質田種太郎男 + 函 □	F 4交渉會議者関本品職等委員 45円派外二十五日幕事終了後事等 (4)
千圃・豆基準・豆むも不公平が八百蝿・基準・豆むも不公平が八百蝿・基準・豆むも不公平が	が以中工答がけ 発音はな行	大本藏相 調查司結果漸次此	ユ其矛盾を質問から 理が何故忌地租を除ずダニゆず	川崎克氏(憲政會)此稅劍幣	以き説明が守いましまがあってもの	お後後日十女と計が受トラとが四名祭舎一括かい議題の供かれ	11程37八印紙稅法中收正法律案	日程第六石油消散税法废止法律案	H程 出五 管業 稅法律中 败正法律 案	11程第四所得税法中致正法律系	説明の有かい議長の委員の川指名	中女臣去非常非谈过是外上女子中程第二明治四十年法律第二十一號	質問者後日呈讓並後	分の開議が立日屋第一関務大豆の日本衆議院本倉譲七午後一時十五	二十五	プミド	民族北市會	로되앗더라	日十六十八十八十八二十六十十四十八月日十八月日日終了むけ五述む後零時	機以外自席の将又滿足対の山あいかがまする	リコナルンボトトユミネトユラッス各回の補助艦球造の競争す	栗力의關係上十六年度々지弖히)	•	・一十二郎 おの名別の一つ記名である。	三月子建十一月交出日帳簿呈改廿	條可三第二項可身分證明書又是一	て長い一手で育	号經的の道知的の川周出計の可	す。中型月十五日々N所轄寮察署→ 月日→直載する二個月分→収存	内服正射印別 診察 治療可生	女司別 使用电源器司名称数量 調明 日本 明美 名書 男	り」及其鹽類号使用む時と患者	療がり為可で『ユテガリ』「五小様	元(株)の三番師外阿片魁者又之間 不能動	及其鹽類小やの日此号所持なる。	おい譲受む『ユーガリ』コナッ	保存的可能	前項の身分證明費を三年間此を一一交付もの可も	世明書き受かい譲渡人の川此事	が七時七所階級察署ユギi引身が 「ユハリ」 及其鹽類音讓受エバ	大條の三階師薬種商『ユキャチ』に	鹽類小せりで出き所持ちき不得♂される。 おうじょう 本	現でよった。14日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	番師 薬剤師 薬種商及製薬者 きゅ可せ	可證谱で所轄兴察署可認證・受	及薬品授業収储合第七條第二項 号の薬品授業収储合第七條第二項 号	ルセッショニキャリニュルセング ・ 現内は、現代出力事事本	生・含サ	下七川附府合二里甲 五年如市业	中でユーガリの類政権規則十一月のプライリーの	L IF	莫兒此涅類	•	影売乗界+為か・實呈:1 再平印 九十一周マ比か号五倍で達かり	十萬六千
性質の異なり交渉の遅延かの海筋の外がでののでは、一大のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、	約及約定者諮詢者事を規定する編府の官制の工明白な列嶼の條	前の福府の諮詢スリリがませい	第十三條の抵觸が七大権侵犯の第二条 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	正周刊+終了は事を明白は思す	力を放生する本中況且日支郵便	九四年的行及付替外義ニトリカの別が構設を與対の円の五特が	の全糖委員の凝鐵附編地の野便	改施す混同む議論の中華付合節	生かや者又や後生対のりかそれ	皇條約州七調印斗共司効刀可從問題の甲首朴や黄が防ュ答案の	別替の至前少人円総法上重大が	外名中緒局英國ニミ하ゆる材難	任その可解除ヨスルリかユ滿銭	緩和耳ぐ中や耳政治國法上甲野」に、関す権所耳政治院との確義や	鈴木富士雅氏 日支郵便約	附託質問演説の入れ中	蔵相 比の答하五十八名引委員	おいかの管業税法の説明を要求	税課税の標準事確立を希望の有	日川大吉郭王 及守年香港	税断の對からや特可修正な必要	大木藏相 應急修正司故是免	すゆ自己가作成を所謂賞受談♥以	開計中藥品及藥品營業取締分司依	から存と一股心の別様終の寝受えないと呼ばれば	否計)藥劑師、藥極商及娛藥業者小	9左3三點の中(一)醫師(醫生も)	力難自二三个回의政正者見替の至	7杜絶計のひのの取締の完全も期	7目的の野社『ヱテらは『頃の供給』収から日根本の遡から不正使用	殿園體の活動斗相俟から着々效果	つぎ比断の弱み小数型も朝鮮人行う等比断の弱か小数型を対している。	深保護及其行動の對き保安的施設 1部でおそれである。記見者の非	一人道問題三重安立意義を有む者	7此の弊智防止や率の一の社會問人中義思考。要の近日の一	V中華見当日改小正寺が改り奉り 注射可弊小各地の瀰漫技調から		内の在む行政取締の関かいその一	際的見地里早可設하りヨグロゴー製品コ不正輸移出入号助止する	阿川作権的の基本の主主此種跡	4 长校夜段帝晃明七大正九年中一日年中三月一日早日施行すべる司中	エ外で1及其鹽類の取締規則の攻1設11府令第十三駿星州『ユデカリ』次	村田野務局衛生課	規則攻正列對計学	比頭取	施行者(一年)の一日子の別に	附則	4下で『近七條写二コ規定+除本	十四條(第二項中5本會可規定)	作 三 第二項 3七條或→第十條	十三條 『或を第七條』者『第六	反が作工年前の四三十七四人 以下の一年一年一年一年一日日日	■特/後年三件一頁年度2十 <u>年</u> 度	『ユキカリ』『ユルセ』及其題類 足耳三角三 仏の規定の違いない 建	二第六條3二第二項又を第六條 号
市、來一灣村、出て不當可案目の 放見答辨为外刊を中云か五岩の 質問中止の動議が行かり五時一 十分の散音	銀行が立ては、金元の一等ではよう。	森下龜太郎氏 財界日不安	守五簡単可述すり 学成がは程/研究更後代的すり	省州取扱可ゆ七日其内容を退信	前田遞相 本約定や主豆外系	尚野法相 此事對可以說明前	赤	引年工芸なりとり替り上東也に 野市中事化を祭知式の日も額格	內出外相 鈴木君中此問題	明計斗	加藤首相 日支郵便約定司前	恰以可大野治長斗如む態度の中譲步退嬰き嗜好司を内田外相々	おと二十一個條의廢薬問題の?	其次の滿縁の既得權者回收立以入党の任何の人打司の走す	4、意义を別し、十分下下出す!	諮詢がサモハ政府の失態ハ輔が	至上渝文の不足添附かい遍析の令の体彰必変か無可可可的を何だ	示三於表すめる七失當の引公式	手續を執対外斗하びそれ單句供の外政府を何故是公式令第八條四	日支那郵便物是發表首門當計	急行む理由と何處の在む小其次那の在対のりではいまからない。	きべい共貴の	大正十一年十月々习三萬八千九~	古許可让公の逐年其數是增加的。	豆叶枫有冰野雪里	告 木 賞 寸	\	ラ麦川 ド	持毀音要引了王兒及可引(完)	事務の開始のと創設我及線路組織を局所の維持数やの工電信電部に	野の三種の方むは郵便所新設で	終維	の関心特點の有む内引	日青重日計中と推寺費日成死の日の中国府面等日地方公共開情報	の共同する出願すらス探約日と「	一番中面の出面が見り改高す面と又公共開體例が中面み如むなる。	個人習中法人習者不思考五何人之	、請願者の資格	沉信電話及郵便集查	郵便所、電信電話所、及自働電 **		制度の案内書を配布がりますといかがもの近々一般議座通信があ	「本制度の内容機略も拔出すの」	9 爵り合進を得るいいという中林在む通信設備3完備を切ら立地 ホ	◆可能なの限すの採納可の朝鮮 ar の 本が分する理様の実施して、対プロ 計画	置き順位	コ段置き見なる	七地方公衆の政府司	美 **	迎信贷	外不能可能では(末完)	- 三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、	更要三是外作房月入平外州目之129杯之者小自己与作成む一片写 4	や此種薬品サ業務上 必要里が习 事文 むひょ 所待なま 不許の やれれ 綾	奥斯辛受哈辛安林品化可反称作 邊際可原體的聚署可提出可非認認 解
の千五六百石号合成お父七万斗会の千五六百石号合成お父七万斗会	鮮の日三馬齡署四收後の不少替司鮮の日三馬齡署四收後の不少替司	り無型は今後の三盃々研究者が中の無型は今後の三盃々研究者が中	上前是也年有四十万里に近方十七年の十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	小二事清四州不過か立にむ臭氣を初の研究を成功を送む時の七酒味	を供給豆本着目が七司の中然而最	以の中心脈體三脈質別別サン明師	「ヨ七放三價格で在から上一升六十	是引佐亞馬鈴醬等二星此号製造部 七日衛生上何等の害者の無勢等不	分の豆料清酒を即時合成が別日子	こは酒精等取出すい此の諸種の成	少是進却非二三年前早日酒日成分	死者の七川の日鈴木梅太郎比七一四年5、変子等の里ののワイ相の	山水消類川震造の別からや取り其	何酒の對から如左三談からみ	た双受命木毎太郎毛甲开先は今成一世総督府辰務課高石技師モ東京農	這間日本叫私事旅行多了引五歸任	増ブ	襄造界大革命	分하게되었다더라	は修部長の其験査は兄及現伏子致三検査が川耳吹き日京機道の月モ	十時早日主安も醸造者は家の食地	の見り朝系と言いなるよう、丁子前となりがある。	自印酸造石數七	朝鮮酒地檢查		学苗事業の資達を期かり書望がエニ	ひ損失者蒙め七處八無州引五私營	たらりが上差古を皆らが上るでは、かって、一層互相の連絡をし	素者斗需要者間の處かの公平適切	西斯業の進步政警を闘하고 且養苗 / のでの自作自然の方針を対すのこ	四可遺憾が七叶の叶杏道の村七努力	4間可約三割3減少を來が少合を 4億一千萬本・豆減少すり最近二億億	「五更可大正十年度」至하ゆせ一不	2叶至하咋と一億二千五百萬本の 城五千四百萬本の 長おの大正九年 ゼ	が今大正八年度で在が成苗数十一年	戊苗敗小斯天成少斗之頃向音示	「天市五 年々多數37 移入苗も第 所選者 ** あるまず	生木牛 きぞれじ番りこ 並遂すり二十 いう共生産成	年度の比が呼約二十二倍の大正十年度の仏がはの形だっ	最近生産成苗数小題者が増加が上	利管養世事業 利管養世事業	完全司司列を望る上中水	旧當せ制裁量加計·5所則の効果ニュ造林の誠意ナ無き者の對하·6 金	A状况→注意→・其實行→監督·次行→ オタミならるを一層事業	主じゅドルビ女ミ令を一番集造を大部分や該林野の縁放者父と地 大	하せ合め不過ゼス斗此等貸付地代。三七十五町歩3歩功謀集者	は、 こうには、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいは、 こうにはいはいはいは、 こうにはいはいはいは、 こうにはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはい	千二百馀牛、66六千二百馀叮步入(红)间度開始後十一年間4三萬一二	早年不拘む五大正士年十月々四十二年近月十二年十月七四十二十月十二十月十二十月十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	七大概貸付後四五年又七六七年	町沙未瀬耳と 小俣付地で 在草 歴後 要撃攻を 不得になれれて	大社以本此小完了替軍と相當性、経行解析が、	百余三岁~下量と可いた水道で、一角二千一種可一千三百五十五件、一角二千一	素成功으로因称 建澳金受货工会 見かり 大正十一年十月々以 云	サラムト 職が中 底在造体早成 1 . 作え十八萬九百餘町が1多數▼ 王
▲語 憲氏(辞護士) キャッド ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	松督府林野調査委員17	周	属 事務官	總督府遞信 副事	豆左斗如前發表하めて(東京電) 日本のは	B)	744	合	間の豫定のその形便の依属を二月二日でも同五日	府開催道蠶業技術	業技術官會同延		年代的比	中曾加の中記達や書留各遭我記三百通の豆前年同期の比めい約三分	萬三千	1.英二千三百通、廣告郵便十九萬六萬七千二百五通 全約目前網十	調査む今引受書出及價格表記六十	* 至前そ三個月間特殊郵便物數量原規郵便局的年十月51年6十二月	京城局特種郵便物	超級様の叶のみ	サ・1 京城又や仁川の南地中一處六十京城又や仁川の南地中一處六十三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	11とはなけれる日本には地及方廳の官吏の異動陶汰の有意	置行号行政整理三因可以總督本府	可京城の暑興否と疑問の中早晩間の任地を松井氏の希望のそれの好	成近の大路旅解を得む級様の日子	三有吉政務総監の川運動の試すの	1月斗と震火1人気と寺小1三機會を得から他處三轉任か	七全然無根の魔説のの日をか	上 市	大邱府尹轉任說		7不足하り一名五、六百圓号自辦祭の少さ者ので取合質支糸の歴史の	PAF (★や役員問題紛糾呈因が小渡東の一經費の事情上明回が解退す立不	場の五個所を選定がサムト大邱へ	§員そ右二個所ヨ外の京城斗大邱県の8書面→簽送하94日元來渡東の	が、村二十四日釜山仁川・二合議	地計正京成官議所内聯合會事務に	大渡東委員を本議會開催中の派言	月内を完全司奉成川計川高計作の有計小問且充分対外出を故三極の	(チ派送から目的の一部を達む點の)線の繋がりそ既が二囘の渡来変が	產開發即十個年計畫F所謂四大的	多人就敢養、第三毫长會唯、第四一 坤翻要呈3件即第一鐵道建設、第 8	そ何日	了11月下5度了第一节51年新	說	勝ちませらせ 一番	が非洲腺が調金星がユニ十五日 を	社会の情で上奥山計場長下旬41日不開係当社銀行の利益配置ニーで	小低下を中日前で落正月ま営む。 □ 型・数=後・屋・空中なり。	小南次山下の中十三二七無條件令	二键五重五毛、翌日物二键共为低下外外一月四日『七』	本金利や新春以來費金の諸要波「一人」という一言には、	拉金	清酒中小売の運色の無料サリル
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	大 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· 新元	高 110	公	利 品 三	以	京取(号)	有 前	名今逃中 來逃	京株鹽買買價世品		尽	İ	財 坊 一六七〇 ————	仁 新 四三〇	110110 110110	等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	呈:	其後一圓五六十淺为外見人皮器寄付すり歩調一圓の刃前進すけ	◆阪地の好調を隨むぐ九十圓二十一記九十割の3五十圓の至りの五十五十三十二十三十二十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十	後場京取寸	円謂 計画の		能 話 長三三七鄉	① 今村覺次郎	仁川米豆取引所仲買人	仁川府海岸町三丁目	の選遠かけ然の十大勢豆七漸次件	4合以上見兄」を放金上三人	三叶最近日本朱尽即南极牛至齊上、你式經濟の大勢の如何是腹應對不	鑑的の将來市況を豫料計の七第一の一理七屆然前明是中然の十此日	恐觀二三豫想甘三强弱兩方の意見,無言の安心員入者稱少可以可立	・無料はない置く者落としませる。これの単位では、一気は発見される者のないの単位では、	の可又も短期置置小不虚問週間の一型触逼迫む此際の習物の輻輳の以	成る合併习結果又株敷ル増加耳甲プネリリ智の主架觀하五軟派の主	の現下五十圓八外價格の急激可處	以上互額の積立金を得から二回以上互額の積立金を得から二回	二川行即五个野子并让清晨是写真以市場株式。三将來取引所8不能	「中强氣側の觀察や京城唯一で株」「極度の逼迫なの三出動者觀望中	「處理の如何を疑惧な叫株式企融」 睡眠中の往來なる潜在も大口物	3、七年初後會以來呈別呈騰落の無し、丸信十圓七十錢學으로止む叫京し	古の東京の東京 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ない 間へに といれば はいけん とうしん 一般 二星一個 ペス 質質 サロ・ナー ほんしょう かまげん ほんかん	一十圓二十钱寄付豆跡不成却五大	二十銭寄付星跡不成す五安取七点復七賢買不成が五同新七四十三回	市川犬島セサ少數取引ヨガユ仁司権下陸将鶴の五買ガモ白楽三李司	日手振の七変方池田新田田中中に11十銭の王緒局十銭の止めの	一十脚五十銭寄付かり砂調四十銭寄せば	の日本海人気を一時、窒状態生物をおり、19日本海人気を一時、窒状態生物	·朝大阪大新『九十一週八十錢斗』 ·朝大阪大新『九十一週八十錢斗	易	京取前寫	以	5
高 高 高 高 高 高		A 元 元	1 (新一条 云合 ·····	果玩(清 要包	韓二統三〇	同新高 300		[]	可形 帝三〇	株名 守週中 來週中	1177	二川宮町舞	の寛睪に	二二米豆 权力 男 中草	温質에 七貫方の亦工二節二十六錢々	日を當市場三二十	1是) 大爱!! 前上中後場。 阪地初付	(張塾	一月二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「小成の可先限を四十三銭の始から	硬張 司報音接引 正當中兩限之依然	△第五節 仮地比質亦二十四後日一二三小地計中亦强硬可止計中	四十七銭々刃跳返すのリカ	古や情勢を注目がや中のけみ スカイの中から一大	進雪刀の甘賞繁皇中の中五硬	作引男を比護鞘の關係を入す 如感應の無可四百四十餘丁の	一二十銭臺書件を時の十場面	2圓九十段鑿号見引時の十二十2較的可强硬も模様の4大阪二	・9 도當布場を阪地市場の比が、7 買方の優勢を乗り目下粉態	と可以日兩市場の情勢を何方、	11日からにおりては日子芸に場る地場有力筋で図及の甲大	宮羅氣筋의買抗のみと情報をあた筋の質押み名古屋筋、桑名等	地市場の形勢や北國筋、東京の	反一雪宵+人哀	九級司始即日俄然買物司簇出司中兩限之依然不成可以先限之	では一般は五角二十四銭では一番では、 一般は五角二十四銭では	等以第一页也是第二十四数字章 單二口三件止하다	二十六段:始司吓八段二星小寶騰司咋當中兩限七不成の叶先四	十九錢以高報是伴하五人氣假然第三節 阪地三節十四錢으로四	段の止すい 一般の 又小州も名	五當中兩限を不成り十先限を一第二篇 阪地〇六銭の分割で	1.15 克勃)C能力更强力3.4.16分别付断引	A第一節 當中兩限之不成可且以 ●第一節 當中兩限之不成可且以	四段を受か立立合がリーフ低も、	今後場の入りの大阪初付二十八の結局三十八銭の場合止が吹や	の漸次緊張하り四十銭や刃反騰の8年小五節の至りり買力の8	後阪地供落外共前三十銭な 内崩を技する二十三里二十十銭の	「袋トレニー三別ニーも減り台ニ里共後三十四國二十八銭も高田村・田竹・村田二十八銭も高田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田村・田	明岛+灰也切付二十八遇二十九(形勢)斯强)	一月二十五日後場	仁川期米	新九〇二〇九一六〇	1000
的煙,清: ********************************	東亞(司)	月寒(引)	高麗日	(日)	明 法	中蔵湯言ご	外数 高 谷	野野	引	是是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一	林 名 今週中	ラ第音	改化 定	\ \ \ \		明陽取組高 八、一四九、〇 買総石數 五萬八千一百石	先 限 限 二	中當	取却組高	四節	· 一節 二十三個三十三銭	定價			ノ E 谷) } &				定價		高質 二十三国三十六錢	一 初付 二十三 関三十銭 コナ三関三十銭	一十二五五十二十四二十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	小押買当買抗物の亦叢出のの二十一段の习俄然崩落の気口	此際可可可奔狂的資物可突然現出	○九銭の情報書接引ュ當中兩限セ	▲第六節 限地九節○九銭止價亦	十二錢可以都中三錢二里小尚都內	→司當中兩限を不成の中先限を三	の活案が無可止が可	北殿子三十四錢叫給市川樓面子正	立 遊	小似年共市三十銭・三下落市中山	 	四段の始めい六銭ないののでは、	必戻事の止から	血 解	灰地山節亦十鐘	低り初付かせ二圓三十銭。	# T	で情報も後の五幾分平	上質は	強制後編者止れませら今宵編者人工工質進みまれたがある。	七便工